

東山

栃木市立大平東小学校
学校だより 第2号
令和6年5月2日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



地域の方から、第1号への感想をいただきました。「校長先生の思いや考えが伝わってきます。」と。

読んでいただけるだけでもありがたいと思っております。このように感想などいただくと、とてもうれしいです。



学校東側の道路に沿ってチューリップが一行にきれいに並んで咲いています。チューリップと平行に子供たちが一行に並んで登校しています。このチューリップ、どなたが植えて育ててくれているのでしょうか。学校職員に尋ねても分からず。保護者の方、地域の方でお分かりの方がいましたら、教えていただくとありがたいです。

「考える子」について

前号の続きです。今回は、教育目標の第二項の「考える子」についてお話します。

少しばかりかたい話になりますが、お付き合いください。

どのような子に育てるのか。もう少し具体的にしたのが、目指す児童像といえます。

考える子 (進んで学び、自分の考えを表現できる子)

となっています。

1年生は1年生なりに、6年生は6年生なりに「進んで学び、自分の考えを表現できる子」に育てるということになるでしょう。

3つに分けてみます。

①進んで学ぶこと ②自分の考えをもてること ③その考えを表現できること

②と③は別の機会にお話することにして、今回は①について書いてみます。

受け身ではなく、進んで学ぶ子に育てるにはどうしたらよいのでしょうか。様々な考え方がありますが、私は次の2つが大切だと考えています。

- 1 げきれい はげ ほ 激励 (励まし、褒めること)
- 2 学び方を身に付けさせること



例えば、漢字の練習をする時に「やろう」と思って練習したのと、「いやだ」と思って練習したのでは、結果に大差がでます。「進んで学ぶ」とは、この「やろう」と思う状態のことと言えます。この「やろう」と思う状態をもう少し分かりやすい言葉で「やる気」と置き換えてみます。

では、子供が「やる気」になるのは、いったいどんな時でしょうか。

第一に「褒められた時」だと思えます。人は、誰しも、褒められればうれしいものです。私の両親は80歳を超えていますが、それでも植木の手入れや裁縫のことを褒められればすごくよろこびます。保護者の方々も会社の上司に褒められればうれしくなり「やる気」になると思えます。

したがって、私をふくめてすべての教職員で子供たち一人一人を褒めて、励ましていくことが大

切になります。

「正しい答えを出した子を褒める」などという単純なことではなく、しばしば間違えた子も褒めます。「それはすごい発想だ」「誰にも考えられなかったことだ」というように褒めていきます。つまり、「正しいか」「間違いか」という尺度ではなく、「思考の範囲が広がった」という点で褒めるわけです。また、他人と比較することなく、「昨日の君に比べて、進歩しているよ」と個人の進歩を認めて褒めます。子供の失敗にも「大丈夫」「この前よりがんばったよ」などと励まし続けます。

第二は、「こうすればできるようになるという効果的な方法が分かる時」「確信がもてる時」、人はやる気になります。教師の視点で少し専門的に言いますと「学び方を身に付けさせる」となります。

魚を1匹取ってあげるより、魚の上手な取り方を教え、それを身に付けさせることの方が重要であると言える分かりますか。魚の上手な取り方をマスターした子は、進んで魚取りをするようになるでしょう。

再度、漢字の練習を例にご説明いたします。

効果的で優れた漢字指導法があります。大学の先生、ドクター、全国の著名な教育実践者等が認める指導法で、脳科学の視点からも効果が認められています。紙面の都合上詳しく書くことができないので、大切なポイントを1つだけあげるとすれば、

指で書けるようになるまで、鉛筆で書かせない



ということです。漢字を覚えさせるときに、初めから鉛筆を握らせません。

書き順を口で唱えさせながら、机の上に人差し指で書かせます。「指書き」といいます。

私は担任の時、新しい漢字の練習を「指書き」「なぞり書き（薄い漢字の上を鉛筆でなぞる）」「写し書き（白いマスに書く）」の順にさせていました。毎日の国語の授業時間に行います。これまで苦手だった子どもできるようになり、漢字が好きになります。

このことは漢字を教えるということだけでなく、漢字の効果的な覚え方も身に付けさせることにもなります。漢字の学び方を身に付けさせることになります。

個人差があり、少し時間がかかる子どもいますが、この方法は一度覚えてしまうと一生使えます。そして「やる気」もアップします。

漢字だけに限らず、学び方が身に付いた子は進んで学ぶようになると考えられます。

私たち教員は、本務である授業で、学習の内容を教えるだけでなく、学び方を身に付けさせることに意を注ぐ必要があります。

このようなことは教師の腕にかかってくるわけです。

先生方を励ましていただけたらありがたく思います。

教育目標の三項「たくましい子」については次号で述べさせていただきます。

おやじの会の方々、ありがとうございました！

4月26日（金）放課後にプール清掃の事前準備作業を行いました。上学年児童でプール清掃を行います。児童では大変な作業（側溝の泥をきれいにする等）を、事前準備作業として行いました。例年、担当教員が行っていたのですが、今年度は、おやじの会の方々も協力してくださいました。おかげで短時間で終わることができました。おやじの会の方々、学校のためにありがとうございました。

